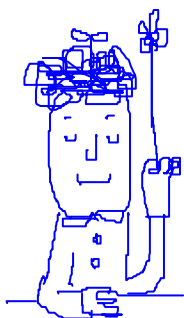


「世界史 B」 シラバス

教 科	地理歴史	科 目	世界史 B
学 年	2年・3年継続	単位数	2年次：3単位 3年次：3単位 計6単位
使用教科書	『世界史 B』(出版社)	副教材	『最新図説 世界史』(書店)

1. 学習目標

何のために世界史を学ぶの？



世界史っておもしろい！

「世界史は暗記科目だからきらい」という人、多いですね。確かに、ひたすらの丸暗記は、苦痛なものです。しかし暗記も積もれば、その山が知らない間に一つの生命体のように、自由自在に動き始めることもあるんですよ。暗記で満たされた君の頭の中で、「覚える」が「考える」になり、「考える」が「驚き」や「喜び」に変わる。歴史の一つ一つを、単なる苦痛のタネで終わらせるか、生き生きとした事物に変えるかは、みんなのとらえ方一つなのです。

6万年前の旧人が死んだ仲間の胸に花を置いて埋葬したという、私たちの心の起源を伝えるエピソード。近代以前の時代に生きた人びとが、私たちのようには未来を思い描かず、春夏秋冬の循環の中で生きていたというその時間感覚。地球が動いていることをひとり確信したコペルニクスが夜空を見上げながら感じたおののき。そんなことに思いをはせながら異時空間に想像の羽をはばたかせる。世界史とはそんな思考の広がりを見せてくれる楽しい学問なのです。そして、そんな思考の広がり、私たちの生き方や社会のあり方を考えることと、きっと重なっていくにちがいありません。

過去から未来を学ぶ。

過去を学ぶのは、現在について考えるため、そして、未来を設計するため、と言ってよいのです。戦争・テロ・民族問題・経済格差・環境破壊など、さまざまな困難な状況に直面している今の世界ですが、それは過去の世界とつながっています。今という「表面」を見るだけでは、問題の本質をとらえきることはできません。なぜそのような問題がおこってしまったのか、過去からの経緯を探り、今を多様な視点でとらえることができはじめて、世界は問題解決の糸口をつかめるのではないのでしょうか。「歴史は繰り返す」と言いますが、それは、歴史は今を映し出す鏡であるということです。私たちは、今を生きるためのヒントとなる教訓やモデルを、歴史の中に見出すことができるのです。

世界史はこうした「過去から未来を学ぶ」という大事な要素をはらんでもいるのです。

2. 学習の方法

まずは毎時間の授業を、「なぜ、そうなるのか」ということを考えながら受けること。

授業ではみなさんが自ら思考できるよう、積極的に質問をしていきます。自分の意見を発表し、仲間の意見によく耳を傾けてください。また、みなさんからも疑問に思ったことなど積極的に質問してください。そうすることで授業が活性化し、深まります。

- ・**授業プリント**：板書を写すだけでなく、授業中にきいた話や自分で調べたことを書き加えたものを評価します。必ずファイルし、毎時間持ってきてください。
- ・**ふりかえりシート**：単元ごとに、その時代を通してどのようなことが分かったのか、どのような疑問をもったのか、記述してもらいます。「今、どんな時代を学習しているのか」ということを念頭において授業に取り組みましょう。

予習 授業 復習のサイクルを確立しましょう。

予習では、前の時間の学習を振り返りながら、教科書や資料集をみて次の学習のイメージをふくらませましょう。予習をして疑問をもつてのぞむと、授業に一段と集中して取り組むことができます。また、授業で大きな流れ（要点）をしっかりとつかんだら、細かい部分は家庭で復習し、知識が定着するようにしましょう。歴史の分野は記憶しなければならない量が多いので、小テストなどを活用し、基本的な知識をしっかりとつけていきましょう。

新聞やニュース番組などで取り上げられる時事問題に関心を持ちましょう。

今の社会の問題が見えてくると、過去の出来事もより明確にとらえることができます。また、逆に過去の歴史を知ることによって現在の問題もよく見えてきます。授業でも学習事項と関連のある時事問題を取り上げ、解説していきます。

成績がよくなかった場合

定期考査終了後に学習方法について話し合う面談と、補力補習を行います。

3. 評価の観点・評価方法

評価はあらゆる場面で行っていきます。テストは評価の一部に過ぎません。授業に取り組む姿勢や提出物の内容の良し悪しが評価に大きく影響します。

評価は次の4つの観点によって行います。

評価の観点	内 容	評価方法
関心・意欲・態度	世界の歴史に関心を持ち、意欲的に追究しようとしているか。	学習状況・授業プリント ふりかえりシート
思考・判断	世界の歴史のそれぞれの事象を大きな流れのなかにとらえ、さまざまな角度から考察できるか。また、さまざまな見方について検討し、自分の意見が持てるか。	定期考査・課題テスト(論述問題等) 学習状況(質問に対する発表の内容) 課題レポート・ふりかえりシート
技能・表現	世界の歴史についての資料を収集し、必要な情報を選択して活用できるか。また、それらをもとに考察した結果を適切に表現できるか。	定期考査・課題テスト(資料問題等) 学習状況(質問に対する発表の内容) 課題レポート(発表を含む)
知識・理解	世界の歴史をわが国の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けているか。	定期考査・小テスト・課題テスト



4 .年間の計画(2 年次・3 年次) どんなことをやるのか、年間の計画を見てみよう。

月	単元名	学習内容	活動内容 =音 ☞=モノ □=資料・映像	評価方法
4	世界史 B オリエンテーション		・世界地図を描いてみよう。 ・世界史を学ぶ意味とは？アンケートを取るよ。	・行動観察 ・小テスト ・ふりかえりシート ・授業プリント
	序章	先史の世界	・「ルーシー」って誰？(ビートルズ) ・人類の誕生について考えてみよう。	
5	第1章 第1部 オリエン と地中海 世界	1.古代オリエント世界	・誰もが知るピラミッド。でも、それがいったい何のために造られたか、知ってる？	・行動観察 ・小テスト ・ふりかえりシート ・授業プリント
		2.ギリシア世界 3.ローマ世界	・太陽暦や10進法。私たちの生活にあたりまえのようにある文化が、実はこの時代につくられていたんだ。 ・「すべての道はローマに通じる」地中海帝国の成立。 ・キリスト教の精神はヨーロッパ文化の源流の一つだ。その特色をとらえよう。□『最後の晩餐』(レオナルド=ダ=ヴィンチ)	
6	第2章 アジアの 古代文明	1.インドの古代文明	・国旗に歴史あり。インドの場合・・・	・行動観察 ・小テスト ・ふりかえりシート ・授業プリント ・夏季課題 レポート
		前期中間考査	・憲法上廃止されたにもかかわらず、今なお残るカースト。いったいどのようにして生まれてきたのだろう。 ・古代中国、初めて皇帝と称した男は、あらゆるものの統一を目指した！ ・歴史小説を読もう □『項羽と劉邦』(司馬遼太郎)	
7	第3章 東アジア 世界の形 成と発展	1.北方民族の活動と中国の分裂	・分裂時代の中国をみてみよう。天下三分の計とは。 □『三国志』(横山光輝)	・行動観察 ・小テスト ・ふりかえりシート ・授業プリント
		2.東アジア文化圏の形成 3.東アジア諸地域の自立化	・「帰りにないざ 田園将に...」なぜ江南に文化が発展したか。 ・日本も学んだ中国律令体制。その成立から崩壊までをたどる。 ・昔の中国にも受験地獄があった！科挙に象徴される文治主義の政治体制とは。□『科挙 中国の試験地獄』(宮崎市定)	
8	第4章 内陸アジ ア世界の 変遷	1.遊牧民とオアシス民の活動	・歴史小説を読もう □『耶律楚材』(陳舜臣)	・行動観察 ・小テスト ・授業プリント
		2.モンゴル民族の発展	・世界史上空前の大帝国。モンゴル人の強さの秘密とは。「プレスター=ジョン伝説」東西交流の意義を考える。 ・マルコ=ポーロがヨーロッパの歴史に与えた影響とは。	
9	前期期末考査			
10	第5章 イスラーム 世界の形 成と発展	1.イスラーム帝国の成立 2.イスラーム世界の発展 3.インド・アフリカのイスラーム化 4.イスラーム文明の発展	・イスラーム教の聖典である『コーラン』。その荘重な響きに耳を澄ませよう。 ・「コーランか、剣か、貢納か」：拡大するイスラーム世界を追ってみよう。 ・『アラビアン=ナイト』のモデルとなったカリフって誰？イスラーム社会をのぞいてみよう。 ・イスラーム世界の書物では日本のことを何と記していた？	・行動観察 ・小テスト ・ふりかえりシート ・授業プリント
11	第6章 ヨーロッパ 世界の形 成と発展	1.西ヨーロッパ世界の成立 2.東ヨーロッパ世界の成立 3.西ヨーロッパ中世世界の変容 4.西ヨーロッパ中世文化	・東西ヨーロッパ世界の成立とその違いをおさえよう。 ・修道士の起床は午前2時！中世ヨーロッパの人々の暮らしをのぞいてみよう。□『中世に生きる人々』(アイリーン=パウア) ・十字軍の目的は？ヨーロッパ世界が膨張する過程を考えよう。□『物語 世界史への旅』(大江一道・山崎利男) ・「カノッサの屈辱」：勝ったのは教皇か皇帝か。 ・当時の理想の人間像とは？□『アーサー王物語』 ・ジャンヌ=ダルクを通してみる英仏百年戦争。	・行動観察 ・小テスト ・ふりかえりシート ・授業プリント
12	第7章 諸地域世 界の交流	1.陸と海のネットワーク 2.海の道の発展	・東西交流の3つのルートをみてみよう。 ・海のネットワークを形成するムスリム商人の活動をおさえよう。現在も使用されるジャンク船とダウ船。	・行動観察 ・授業プリント
		後期中間考査		
1	第8章 第2部 アジア諸 地域の繁 栄	1.東アジア・東南アジア世界の動向	・教科書第2章[東南アジアの諸文明]・第5章[東南アジアのイスラーム化]はこの単元であわせて学習します。	・行動観察 ・小テスト ・ふりかえりシート ・授業プリント
		2.清代の中国と隣接諸地域 3.トルコ・イラン世界の展開 4.ムガル帝国の興隆と衰退	・明の朝貢体制 □『宮廷女官チャングムの誓い』(NHK) ・清の時代に人口爆発？隠れていた人々が現れたのはなぜ？ ・陸を移動する船！千年の守りを誇る鉄壁の都市コンスタンティノープルの攻略方法とは？イスラーム勢力がヨーロッパ世界にもたらした脅威。 ・ムガル帝国の建国者はチンギス=ハンの末えい？帝国のインド支配の特色をつかもう。	
2	第9章 近代ヨー ロッパの	1.ヨーロッパ世界の拡大 2.ルネサンス 3.宗教改革	・コペルニクスの転回！地球が宇宙の中心だと信じていた頃の人びとが考えていた世界とは、いったいどんな世界？ □『天動説の絵本』(安野光雅) ・コロンブスが目指した場所とは？	・行動観察 ・小テスト ・ふりかえりシート

	成立	4.主権国家体制の形成	・アメリカ文明がヨーロッパにもたらした影響をつかもう。 ・作品を通してルネサンス期に生きる人間のあり方を考えよう。 (『デカメロン伝説』)	・授業プリント
	第10章 ヨーロッパ 主権国家 体制の展 開	1.重商主義と啓蒙専制 主義 2.ヨーロッパ諸国の海外 進出 3.17～18世紀のヨーロ ッパ文化 後期期末考査	・「17世紀の危機」をへたヨーロッパの動きをとらえる。 ・「王は君臨すれども統治せず」二度の革命を経てイギリスはどう 変わったか。 ・「太陽王」ルイ14世とヴェルサイユ宮殿。ブルボン家とハプス ブルク家の対立からヨーロッパの国際関係を理解する。 ・「我思う、ゆえに我あり。」あらゆるものを疑ってみつけた、疑 いようのないものとは？歴史を動かした思想家たちに学ぼう。	・行動観察 ・小テスト ・ふりかえり シート ・授業プリント
4	第11章 欧米にお ける近代 社会の成 長	1.産業革命 2.アメリカ独立革命 3.フランス革命とナポレ オン	・産業革命は人々の価値観をも変えた。時計に縛られた生活のは じまり。産業革命の功罪について考えよう。 ・アメリカ合衆国？それとも合州国？ ・旧体制を打ち破れ！フランス革命が目指したものは？ □『ベルサイユのばら』(池田理代子) ・「人間を動かす二つのてこは恐怖と利益」。誰のことば？ ・ベートーヴェンはなぜ楽譜を破り捨てたのか。(『英雄』)	・行動観察 ・小テスト ・ふりかえり シート ・授業プリント
5		第12章 欧米にお ける近代 国民国家 の発展	1.ウィーン体制 2.ヨーロッパの再編 3.アメリカ合衆国の発展 前期中間考査 4.19世紀欧米の文化	・なぜ旧体制に戻ろうとしたのか？ナポレオン失脚後、ヨーロ ッパの秩序はどう再編されたか考えよう。 ・ 主題学習 □『最後の授業』(ドーデ)を題材に、ドイツとフ ランスの関係から「ことばと国家」について考えよう。 ・未来をみる装置「万博」のはじまり。19世紀の欧米社会がみ た未来とは？ ・ゴッホの愛した浮世絵。日本と西洋の表現の違いを考えよう。 □『神奈川沖波裏』(葛飾北斎)
6	第13章 アジア諸 地域の動 揺	1.帝国支配の動揺とアラ ブのめざめ 2.南アジア・東南アジア の植民地化 3.東アジアの激動	・敗走するオスマン帝国の置土産とは？帝国支配の動揺とヨー ロッパ諸国の進出。 ・シパーヒーの乱はなぜ起きた？イギリスのインド支配。 ・タイが東南アジアで唯一独立を維持できたのはなぜ？15歳で即 位した王チュラロンコン。	・行動観察 ・小テスト ・ふりかえり シート ・授業プリント
7	第14章 帝国主義 とアジアの 民族運動	1.帝国主義と列強の展 開 2.世界分割と列強対立 3.アジア諸国の改革と民 族運動	・エジソンの発明 [〜] 蓄音機はどうやってできた？ ・帝国主義の多様な性格を理解し、その影響を考察する。 ・帝国主義時代の「闇の日本人」とは？ ・日露戦争を考える。(〜203高地の銃弾) □『父が子に語る世界史物語』(ネルー)	・行動観察 ・小テスト ・ふりかえり シート ・授業プリント
8 ・ 9 ・ 10		第部 第15章 二つの世 界大戦	1.第一次世界大戦と ロシア革命 前期末考査 2.ヴェルサイユ体制下 の欧米諸国 3.アジア・アフリカ民族 主義の進展 4.世界恐慌とファシズム 諸国の侵略 5.第二次世界大戦	・世界大戦はなぜ起こった？ 第1次世界大戦にいたる対立構造と大戦の特質をとらえよう。 ・ロシアは革命によってどう変化したのか。 □『世界を揺るがした十日間』(ジョン=リード) ・大戦によって世界はどう変わったのだろうか。 ・ジャズエイジ：ジャズをきこう。(ルイ=アームストロング) 大量生産・大量消費の社会の到来。 ・札束で遊ぶ子どもたち！?(〜インフレ期のドイツマルク) ・戦争の世紀：20世紀の戦死者数は、古代から19世紀末までの 戦死者数の総和を上回った。□『映像の世紀』(NHK)
11	第16章 冷戦とア ジア・ア フリカの自 立	1.東西対立の始まりとア ジア諸地域の自立 2.冷戦構造と日本・ヨー ロッパの復興 3.第三世界の自立と危 機 4.米ソ両大国の動揺と国 際経済の危機 後期中間考査	・二度の大戦を経験した世界はどこへ向かうのか。戦後の世界の 動きと各国の社会状況を理解する。 ・「鉄のカーテン」どこからどこまで？ ・核戦争の危機。世界が緊張した13日間。キューバ危機が冷戦 構造にもたらした変化とは？ ・ベトナム戦争を考える。□『映像の世紀』(NHK) ・ドル=ショックとオイル=ショック：国際経済の危機 ・ケネディ大統領とキング牧師の暗殺。アメリカの民主主義につ いて考える。(キング牧師の演説)	・行動観察 ・小テスト ・ふりかえり シート ・授業プリント
12 ・ 1	第17章 現代の 世界	1.冷戦の解消と世界の 多極化 2.ソ連・東欧社会主義圏 の解体とアジア圏社 会主義国の転換 3.第三世界の多元化と 地域紛争	・「私は、神がどうやってこの世界を作ったかが知りたい。」20世 紀の顔に選ばれた私は誰？□『タイム誌1999』 ・冷戦の解消、社会主義の崩壊と転換。社会主義体制が行き詰ま ったのはなぜ？ ・ 主題学習 21世紀はどんな時代になるか。 私たちの生きる世界の問題について考える。(イマジン)	・行動観察 ・ふりかえり シート ・授業プリント ・レポート

・本校では1年次で世界史Aを履修するので、学習指導要領にある「世界史への扉」は4月当初ではなく、夏季休業中の課題として設定します。